

事業番号

2023 - 金融 - 22 - 0006

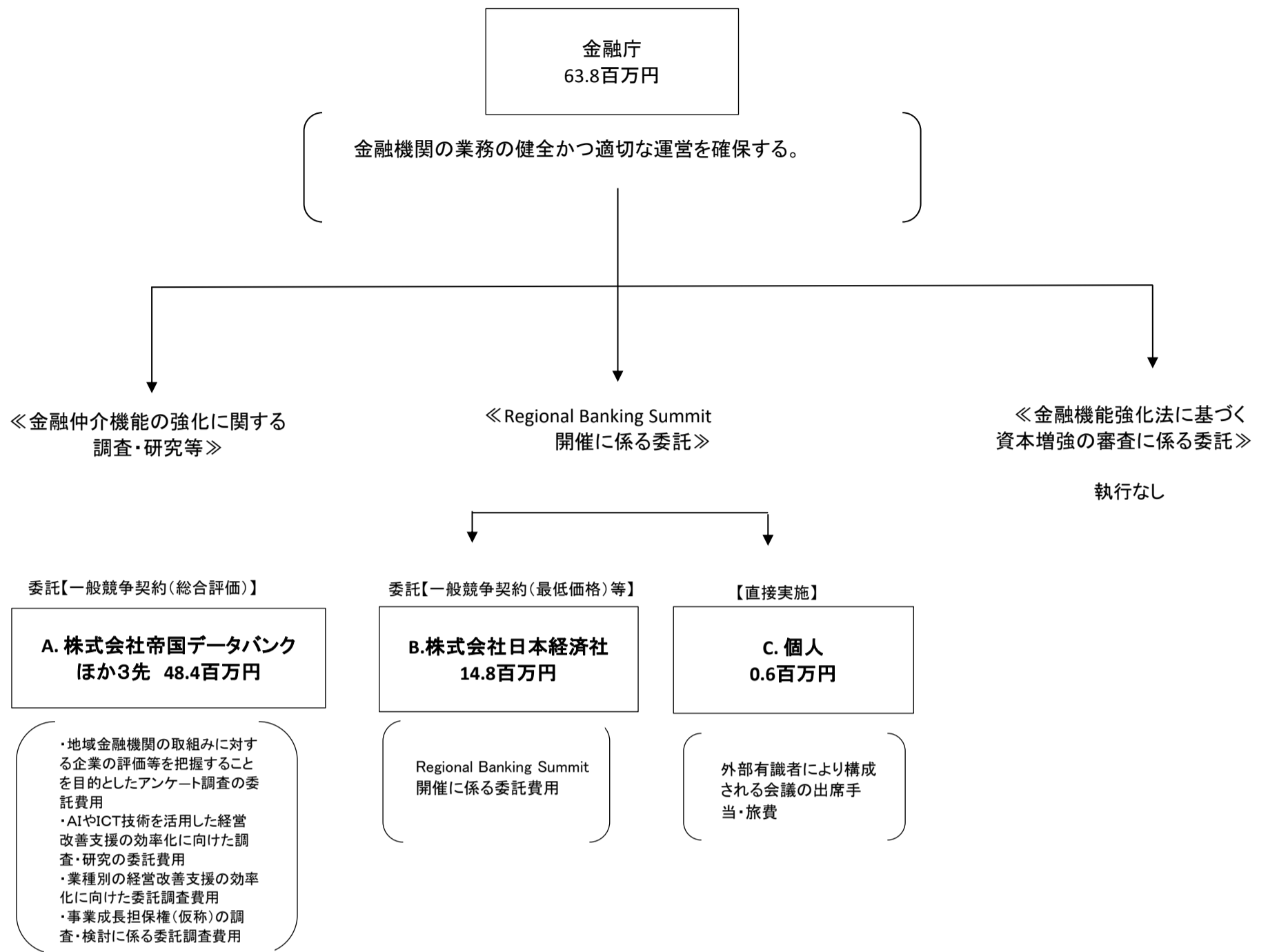
令和5年度行政事業レビューシート				（ 金融庁 ）			
事業名	金融仲介機能の強化			担当部局	監督局	作成責任者	
事業開始年度	平成17年度	事業終了 (予定)年度	終了予定なし	担当課室	銀行第二課 銀行第二課地域金融企画室	田部 真史 村木 圭	
会計区分	一般会計						
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	-			関係する 計画、通知等	-		
政策	基本政策 I 金融システムの安定と金融仲介機能の発揮			主要経費	その他の事項経費		
施策	施策 I - 3 金融仲介機能の十分な発揮に向けた制度・環境整備と金融モニタリングの実施						
政策体系・評価書URL	https://www.fsa.go.jp/seisaku/						
事業の目的 (5行程度以内)	金融機関の業務の健全かつ適切な運営を確保すること。						
現状・課題 (5行程度以内)	地域金融機関は、特定の地域に密着した営業活動を行っており、中小企業や個人を主要な顧客基盤としていることから、地域経済が持続可能であることは、自身の安定的な収益の確保や健全性の維持・向上にもつながる。高齢化の進展や生産年齢人口の減少に加え、外部環境の急激な変化により先行きの不透明感が強まるなか、地域企業が抱える課題は、資金調達だけでなく、後継者や人材確保の問題、デジタル化による生産性の向上など広がりを見せており、地域金融機関には、事業者の課題を的確に把握し、融資だけでなく、課題に応じた解決策の提供が期待されている。以上を踏まえ、地域金融機関が、地域の経済・社会の課題解決の機能発揮と、自身の持続的な経営の好循環が果たされるよう後押しをしていく必要がある。						
事業概要 (5行程度以内)	<外部有識者会議開催経費>担保・保証依存の融資姿勢からの転換、産業・企業の生産性向上を目的とし、金融仲介のあるべき姿等について議論するため、外部有識者会議を開催。 <調査業務委託経費> 地域金融機関が事業性評価に基づく融資やコンサルティング機能を発揮できているか、地域金融機関を利用する企業に対しアンケート調査を実施。 <Regional Banking Summit開催経費> 地域経済・金融の共通価値の創造に繋げる目的で、地域経済の活性化のために期待される地域金融の役割について議論するため、幅広い関係者が会するサミットを開催。 <FA業務委託経費> 金融機能強化法に基づく国の資本参加を実施する場合、予め金融機関等が発行する優先株式等の商品性審査を実施する必要があり、そのためのフィナンシャル・アドバイザー(FA)業務を外部専門家に委託。 <地域金融機関の経営改善支援の効率化に向けた調査研究> 地域金融機関の経営改善支援業務を効率化し、地域の事業者への早期かつ効果的な支援を実施するため、AIを活用した経営改善支援の早期発見のためのモデル構築や、業種別の着眼点の取りまとめに向けた調査研究を行う。 <地域金融機関における地域企業向け支援の高度化に向けた調査研究> 地域金融機関の事業者支援の取組みを促進するため、創業支援や事業再生支援などの事業者支援の取組実態や関連施策に関する海外調査を行う。本事業は、令和5年度補正予算にて措置。						
事業概要URL	-						
実施方法	委託・請負						
補助率等	-						
予算額・ 執行額 (単位:百万円) (インプット)	予算の 状況	当初予算(A)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度要求
		補正予算(B)	-	39	90	47	
		令和5年度第1次補正予算				47	
						-	
						-	
						-	
		前年度から繰越し(C)	24	16	39	90	-
		翌年度へ繰越し(D)	▲ 16	▲ 39	▲ 90	-	
		予備費等(E)	1	-	-	-	
		計(F) =(A)+(B)+(C)+(D)+(E)	41	72	88	182	72
執行額(G)	25	50	64				
執行率(%) =(G)/(F)	61%	69%	73%				
当初予算+補正予算に対する執行額の 割合(%) =(G)/{(A)+(B)}	78%	53%	46%				
令和5・6年度 予算内訳 (単位:百万円)	歳出予算項目		令和5年度当初予算	令和6年度要求	主な増減理由(・要望額・予備費)		
	(項)	金融政策費			○地域金融機関における地域企業向け金融の高度化に必要な経費の新規要求(要望額:諸謝金27百万円) 「重要政策推進枠:41.8百万円」		
	(目)	諸謝金	30	57			
	(目)	金融政策業務庁費	12	12			
	(目)	委員等旅費	3	3			
	(目)	委員手当	1	0			
		その他	▲ 1	0			
	計(A)	45	72				

活動内容① (アクティビティ)	金融仲介のあるべき姿等について議論するための外部有識者会議の開催								
↓									
活動目標及び活動実績① (アウトプット)	活動目標	活動指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	5年度 活動見込	6年度 活動見込
	金融仲介機能の強化に向けた議論の推進	会議開催件数	活動実績	件	0	0	0		
			当初見込み	件	-	5	4	4	
↓	成果目標①-1の 設定理由 (アウトプット からのつながり)	金融機関が、事業者の価値やビジネスの可能性を適切に評価し、担保・保証に必要以上に依存することなく、必要な資金を円滑に供給することにより、金融機関による信用貸出残高が増加すると考えられるため、「国内銀行の総貸出残高に占める信用貸出残高比率」を長期アウトカムとして設定した。							
成果目標及び成果実績①-3 (長期アウトカム)	成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標最終年度 5年度	
	国内銀行の総貸出残高に占める信用貸出残高比率の増加	国内銀行の総貸出残高に占める信用貸出残高比率	成果実績	%	48.3	48.8	0		
			目標値	%	48.2	48.2	48.2	48.2	
達成度	%	100.2	101.2	0	0				
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績	日本銀行「貸出金の担保内訳」								
アウトカム設定について の説明	アクティビティ①について定性的なアウトカムを設定している理由								
	-								
	アクティビティ①についてアウトカムが複数設定できない理由								
事業実施直後(会議開催直後)の短期間でアウトカムの設定が難しいため。									
活動内容② (アクティビティ)	調査業務委託の実施								
↓									
活動目標及び活動実績② (アウトプット)	活動目標	活動指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	5年度 活動見込	6年度 活動見込
	調査業務委託を通じた実態把握	調査業務委託件数	活動実績	件	0	2	1		
			当初見込み	件	0	2	1	1	
↓	成果目標②-1の 設定理由 (アウトプット からのつながり)	企業アンケートの実施の実施により、金融機関の取組みに対する企業の評価を的確に把握するためには、十分な回答数を確保する必要がある。そのため、「有効回答を行った企業の割合」をアウトカムとして設定した。							
成果目標及び成果実績②-3 (長期アウトカム)	成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標最終年度 5年度	
	有効回答数の増加	有効回答を行った企業の割合	成果実績	%	-	36	34		
			目標値	%	-	30	30	30	
達成度	%	-	120.7	113.3	0				
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績	-								
アウトカム設定について の説明	アクティビティ②について定性的なアウトカムを設定している理由								
	-								
	アクティビティ②についてアウトカムが複数設定できない理由								
事業実施期間が非常に短期間(数か月程度)で短期アウトカム・長期アウトカムが同じとなり、段階的なアウトカムの設定が難しいため。									

活動内容③ (アクティビティ)	Regional Banking Summitの開催								
↓									
活動目標及び活動実績 ③ (アウトプット)	活動目標	活動指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	5年度 活動見込	6年度 活動見込
	多彩なプログラムの提供	プログラム数	活動実績	プログラム	23	13	12		
当初見込み			プログラム	20	15	10	10	-	
↓	成果目標③-1の 設定理由 (アウトプット からのつながり)	多様なバックグラウンドを持つ方々が、地域金融や地域社会・経済に係る様々なテーマを取り上げるにより、金融機関以外の地域の関係者もRegional Banking Summitに参加・視聴し、その活動の後押しに繋がると考えられることから、(当該Summitへの)「非金融分野の参加率」を長期アウトカムとして設定した。							
成果目標及び成果実績 ③-3 (長期アウトカム)	成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標最終年度 5年度	
	非金融の参加率の増加	非金融分野の参加率	成果実績	%	-	45	40		
			目標値	%	-	40	40	40	
達成度			%	-	112.5	100	0		
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績	-								
アウトカム設定について の説明	アクティビティ③について定性的なアウトカムを設定している理由								
	-								
	アクティビティ③についてアウトカムが複数設定できない理由								
事業実施期間が非常に短期間(1年程度)で短期アウトカム・長期アウトカムが同じとなり、段階的なアウトカムの設定が難しいため。									
活動内容④ (アクティビティ)	国が資本参加を実施する場合において、金融機関等が発行する優先株式等の商品性審査に当たってのFA業務委託								
↓									
活動目標及び活動実績 ④ (アウトプット)	活動目標	活動指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	5年度 活動見込	6年度 活動見込
	FA業務委託	委託件数	活動実績	件	0	0	0	-	-
当初見込み			-	-	-	-	-	-	
↓	成果目標④-1の 設定理由 (アウトプット からのつながり)	FA業務委託は、金融機関に国が資本参加を実施する場合において、金融機関等が発行する優先株式等の商品性審査を行うための事業であるところ、資本参加は、中小企業に対する信用供与の円滑化等、地域経済の活性化に資する方策である。そのため、国の資本参加を受けた金融機関の中小規模事業者等向け貸出金残高の増加率を指標とすることが望ましいと考えられる。							
成果目標及び成果実績 ④-3 (長期アウトカム)	成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標最終年度 5年度	
	国の資本参加を受けた金融機関の中小規模事業者等向け貸出金残高の増加率	中小規模事業者等向け貸出金残高の増加率	成果実績	%	6.9	1.9	▲0.1		
			目標値	%	1.8	1.9	0.6	1.4	
達成度			%	383.3	100	▲16.7	0		
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績	「経営強化計画」の履行状況報告書								
アウトカム設定について の説明	アクティビティ④について定性的なアウトカムを設定している理由								
	-								
	アクティビティ④についてアウトカムが複数設定できない理由								
「経営強化計画」の履行状況報告書に基づき、年度単位での成果測定を行っていることから、それ以上の短期化は困難であるため。									

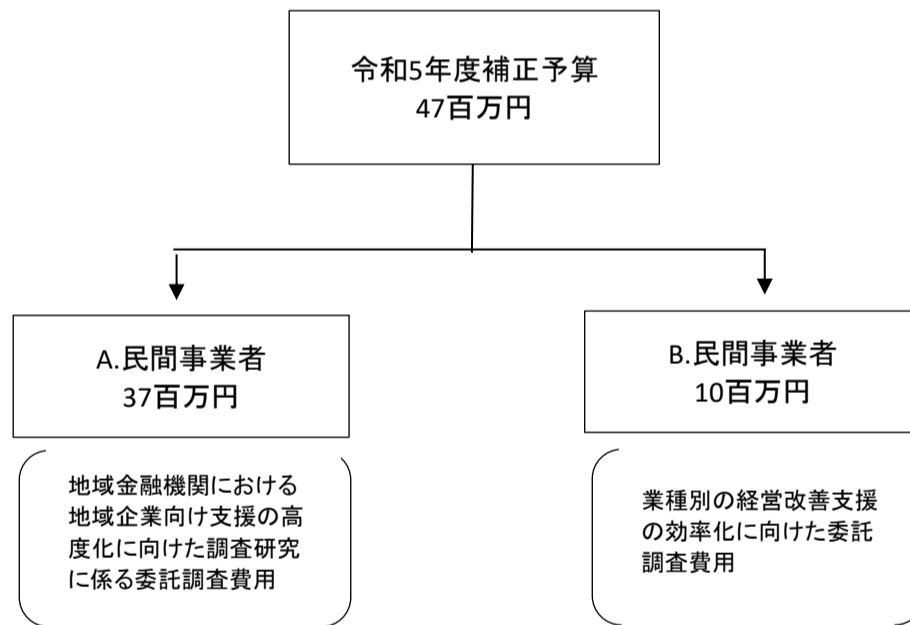
活動内容⑤ (アクティビティ)		AIを活用した地域金融機関の経営改善支援の効率化に向けた調査研究の実施								
↓										
活動目標及び活動実績 ⑤ (アウトプット)		活動目標	活動指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	5年度 活動見込	6年度 活動見込
		効率的な経営支援に資するモデル開発	研究の過程で構築したモデル数	活動実績	種類	-	-	384		
				当初見込み	種類	-	-	48	10	
成果目標⑤-1の 設定理由 (アウトプット からのつながり)		当該調査・研究における効率的な経営支援に資するAIモデルの開発し、開発したAIモデルの活用に向けた実証事業を実施することで、金融機関によるAIを活用した経営改善支援が進むものと考えられるため、アウトカムとして設定した。								
成果目標及び成果実績 ⑤-3 (長期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標最終年度 5年度	
		金融機関がモデルを活用し、経営改善支援を実施	モデル活用に向けた実証事業に参加した金融機関等の数	成果実績	社	-	-	-		
				目標値	社	-	-	-	5	
				達成度	%	-	-	-	0	
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績		「AIやICT技術を活用した経営改善支援の効率化に向けた調査・研究」最終報告書 https://www.fsa.go.jp/common/about/research/20230330_1/20230330_1.html								
アウトカム設定について の説明		アクティビティ⑤について定性的なアウトカムを設定している理由								
		-								
		アクティビティ⑤についてアウトカムが複数設定できない理由								
		当該調査・研究が5年度で終了し、アウトカムを細分化することができないため。								
アクティビティから長期アウトカムについて6つ以上記載が必要な場合はチェックの上【別紙1】に記載										
チェック <input checked="" type="checkbox"/>										
事業に関連する KPIが定められて いる閣議決定等	名称									
	URL									
	該当箇所									
事業所管部局による点検・改善										
点検結果	<p>・本事業は、金融機関の業務の健全かつ適切な運営の確保を目的とし、我が国における金融システム全般の機能強化を行うために必要であり、国民や社会のニーズを反映していると考えている。またその性質上、国が実施すべき事業であることから、地方自治体、民間等に委ねることができないと考えられる。</p> <p>・Regional Banking Summitの開催については、オンライン配信を通じて約6500回再生、事前申込ベースでの視聴者の属性は、銀行・証券・保険で約60%、金融以外で約40%となり、一定程度の視聴者数及びその多様性が確保できたことから、活用状況・成果とも十分なものと考えられる。地域の事業者に対し、いかなる支援を行うことができるか、また、支援を通じて地域経済に付加価値をもたらしつつ、いかに地域金融機関の持続可能なビジネスモデルを構築していくのかといった、地域金融機関の課題に対する問題意識が広く共有された。また、一般競争入札等を活用することにより、競争性の確保やコスト削減に努めており、本事業の予算は適切に執行されているものとする。</p> <p>・調査業務委託経費で調査した成果内容(金融機関による事業性評価に基づく融資やコンサルティング機能の発揮状況に対する企業側の評価等)については、その結果を公表しているほか、金融機関との深度ある対話に活用するなど、金融機関の取組みを一層促すことを通じて、金融仲介機能の質の向上のために十分に活用された。</p> <p>・FA業務委託経費については、金融機関等による国の資本参加申請があったもののみを対象としており、真に必要なものに限定することとしている。過年度、金融機関等により国の資本参加申請がなされず、不用率が高い年度もあるものの、事業目的の通り、引き続き政策体系の中で、優先度の高い事業であると考えている。</p>							目標年度における効果測定に関する評価(令和6年度実施)		
改善の 方向性	<p>・Regional Banking Summit開催にかかる経費については、一般競争入札の活用、委託業者との開催方式に関する十分な調整等を通して、効率性の確保やコスト削減を進めた。今後も、調査業務委託経費も含め、執行実績を踏まえ、必要性・効率性を考えつつ、要求内容の精査を行っていく。</p> <p>・優先株式等の価値評価に当たっては様々なパラメーターが存在し、評価手法も非常に複雑であることから高度な専門知識を必要とするため、当庁のみで評価することは困難であり、商品性の審査に当たってはFAとの契約が必須となる。一方、FA業務委託経費については、制度上、守秘義務の観点から随意契約によらざるを得ないものの、複数業者から見積書を徴取することにより競争の確保やコストの削減に努めることとしている。引き続き調達に際しては競争性の確保に努め、経費削減を図っていく。</p>									
外部有識者の所見										
点検対象外										
行政事業レビュー推進チームの所見に至る過程及び所見										
現状通り	<p>○調査業務委託経費の執行実績も踏まえ、真に必要な要求内容となるよう精査すること。</p> <p>○引き続き、調達に際しては、競争性の確保に努め、経費削減を図っていくこと。</p>									
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況										
現状通り	<p>○調査業務委託経費については、執行実績も踏まえて効率的な予算執行に努め、令和6年度においては、前年同規模の予算要求を行っていく。</p> <p>○調達に際しては、一般競争入札において複数の適合証明書を審査し、競争性を確保することでコストの削減に努めていく。</p>									

※令和4年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。



資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位:百万円)

※令和5年補正のイメージ



A.			B.		
費目	用途	金額(百万円)	費目	用途	金額(百万円)
委託費	調査業務等に要する費用	48.4	委託費	会議開催に要する費用	14.8
計		48.4	計		14.8
C.			D.		
費目	用途	金額(百万円)	費目	用途	金額(百万円)
	※百万円未満	0.6			
計		0.6	計		0

費目・用途欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙2】に記載

チェック

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	有限責任あずさ監査法人	3011105000996	AIやICT技術を活用した経営改善支援の効率化に向けた調査・研究	16.5	一般競争契約 (総合評価)	3	-	
2	株式会社帝国データバンク	7010401018377	金融機関の取組みに対する企業の評価等を把握するためのアンケート調査	14.3	一般競争契約 (総合評価)	1	-	
3	公益社団法人商事法務研究会	5010005018552	事業成長担保権(仮称)の調査・検討に係る委託調査	10	一般競争契約 (総合評価)	1	-	
4	公益財団法人日本生産性本部	4011005003009	業種別の経営改善支援の効率化に向けた委託調査	7.6	一般競争契約 (総合評価)	2	-	

B.

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	株式会社日本経済社	6010001062000	会議開催業務委託	14.8	一般競争契約 (最低価格)	1	-	

C.

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	個人A	-	会議出席手当 (Regional Banking Summit)	0	その他	-	-	
2	個人B	-	会議出席手当 (Regional Banking Summit)	0	その他	-	-	
3	個人C	-	会議出席手当 (Regional Banking Summit)	0	その他	-	-	
4	個人D	-	会議出席手当 (Regional Banking Summit)	0	その他	-	-	
5	個人E	-	会議出席手当 (Regional Banking Summit)	0	その他	-	-	
6	個人F	-	会議出席手当 (Regional Banking Summit)	0	その他	-	-	
7	個人G	-	会議出席手当 (Regional Banking Summit)	0	その他	-	-	
8	個人H	-	会議出席手当 (Regional Banking Summit)	0	その他	-	-	
9	個人I	-	会議出席手当 (Regional Banking Summit)	0	その他	-	-	
10	個人J	-	会議出席手当 (Regional Banking Summit)	0	その他	-	-	

支出先上位10者リスト欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙3】に記載

チェック

活動内容⑥ (アクティビティ)	事業者支援に活用可能な業種別支援の着眼点の作成									
↓										
活動目標及び活動実績 ⑥ (アウトプット)	活動目標	活動指標	/	単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	5年度 活動見込	6年度 活動見込	
	業種別支援の着眼点の作成	業種別支援の着眼点にかかる コンテンツ作成件数	活動実績	件	-	-	24			
			当初見込み	件	-	-	5	3		
↓	<p>成果目標⑥-1の 設定理由 (アウトプット からのつながり)</p> <p>当該調査・研究における効率的・効率的な経営支援に資するよう、事業者支援に当たっての業種別の着眼点にかかるコンテンツを作成した。これらのコンテンツを普及促進することで、金融機関による経営改善支援が進むものと考えられるため、アウトカムとして設定した。</p>									
成果目標及び成果実績 ⑥-3 (長期アウトカム)	成果目標	定量的な成果指標	/	単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標最終年度 5年度		
	金融機関が業種別支援の着眼点を活用し、経営改善支援を実施	業種別支援の着眼点に関する 説明会開催回数	成果実績	回	-	-	-			
			目標値	回	-	-	-	11		
			達成度	%	-	-	-	0		
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績	全国の財務局数									
アウトカム設定について の説明	アクティビティ⑥について定性的なアウトカムを設定している理由									
	-									
	アクティビティ⑥についてアウトカムが複数設定できない理由									
	当該調査・研究が5年度で終了し、アウトカムを細分化することができないため。									

活動内容⑦ (アクティビティ)	地域金融機関における地域企業向け支援の高度化に向けた海外調査の実施									
↓										
活動目標及び活動実績 ⑦ (アウトプット)	活動目標	活動指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	5年度 活動見込	6年度 活動見込	
	創業支援や事業再生支援などの事業者支援の取組実態や関連施策についての海外調査に関する報告書を取りまとめる。	創業支援や事業再生支援などの事業者支援の取組実態や関連施策についての海外調査に関する報告書を公表する。	活動実績	-	-	-	-	-	-	
			当初見込み	-	-	-	-	1	-	
↓	成果目標⑦-1の 設定理由 (アウトプット からのつながり)	海外金融機関等による事業者支援の取組実態や関連施策に関する調査を行うことにより、日本における地域金融機関の事業者支援の取組みの課題整理や対応策を検討し、有効な政策立案を検討するため。								
成果目標及び成果実績 ⑦-3 (長期アウトカム)	成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標最終年度 5年度		
	地域金融機関による事業者支援の取組を促進するための政策立案を行う。	調査結果を踏まえ、地域金融機関による事業者支援の取組を促進するための施策を公表する。	成果実績	件	-	-	-			
			目標値	件	-	-	-	1		
			達成度	%	-	-	-	0		
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績										
アウトカム設定について の説明	アクティビティ⑦について定性的なアウトカムを設定している理由									
	アクティビティ⑦についてアウトカムが複数設定できない理由									
	事業実施期間が短期間(1年程度)で短期アウトカム・長期アウトカムが同じとなり、段階的なアウトカムの設定が難しいため。									